



11月18(日)に、潮風アリーナ周辺で、みうら市民まつりが行われ、本研究所も参加しました。

潮風アリーナ内では、アイロンビーズのクラフトワーク、駐車場では、ワカメパン等の販売を行いました。

アイロンビーズはたいへんな人気で、お待たせしてしまうことが多かったです。子どもたちが熱心に取り組んでいました。市内各学校の海洋教育授業の写真も展示されました。

ワカメパンやコンブパン等の販売も大好評で、1時前には完売しました。本研究所の活動の様子のチラシも一緒に配布しました。

三浦市の海洋教育の状況を一般市民に広くお知らせすることができました。



11月19日(月)、三浦海岸で、南下浦小学校の全校児童が海岸清掃を行いました。これは、毎年恒例の行事で、今年は6月に続いて2回目の活動でした。1年生から6年生までのたて割りグループを作り、そのグループごとに活動していました。収集したごみは、かながわ海岸美化財団の方が回収して下さるそうです。



11月28日(水)、南下浦小学校で海岸を走る全校マラソン大会が行われました。30年以上は続いている伝統行事だそうです。

この日のために1週間ほど前から校庭などで走る練習をしてきた子どもたちは、「がんばれー!」「あと少しだ!」「追い越せー!」と、応援しに来た保護者たちからの声援を浴びながら、海岸線の砂を力強くけり出し、ゴールに向かって走っていました。(ちなみに、応援してきた保護者たちも、小さい頃には経験している人が多いそうです)



11月29日(木)、初声小学校で、全校集会が行われ、その中でいくつかの学年で、海に関する発表がありました。

1年生の海グループは、矢作海岸でとった海の生き物を飼ったこと、自分たちで、うみもんカードを作ったことを発表しました。1年生は、年間を通して「うみはかせになろう」というテーマで学習しています。

2年生は、「スイミー～矢作バージョン～」で、各自が書いた海の生き物の絵と歌を発表。「生き物を守っていききたい」と結びました。

5年生は、真珠、アマモとアイゴ、クラゲとプラゴミなどの、それぞれのテーマで学習したそうです。



(文責 事務局長 渋谷)